

ダイワ・グローバルIoT 関連株ファンド –AI 新時代– (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし) 2018年に入りパフォーマンスが好調なダイワ・グローバルIoT関連株ファンド

※当資料は、BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が提供するコメント等を基に大和投資信託が作成したものです。
※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

2018年9月7日

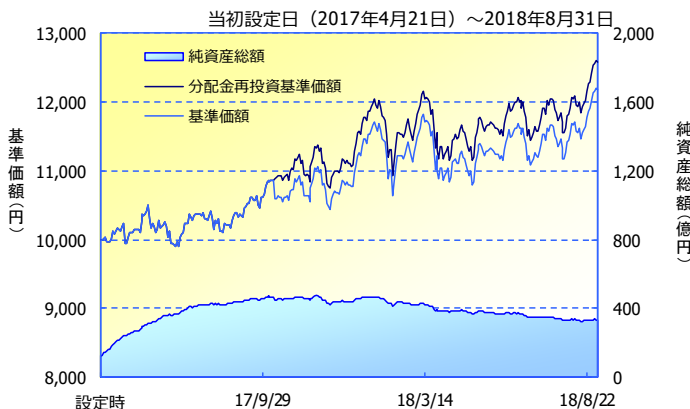
お伝えしたいポイント

- ・ダイワ・グローバルIoT関連株ファンドは2018年に入り、世界株式市場を大きく上回るパフォーマンスとなっています。
- ・組み入れ銘柄の利益成長が年を追うごとに拡大していることなどが、パフォーマンスの好調さを後押ししています。

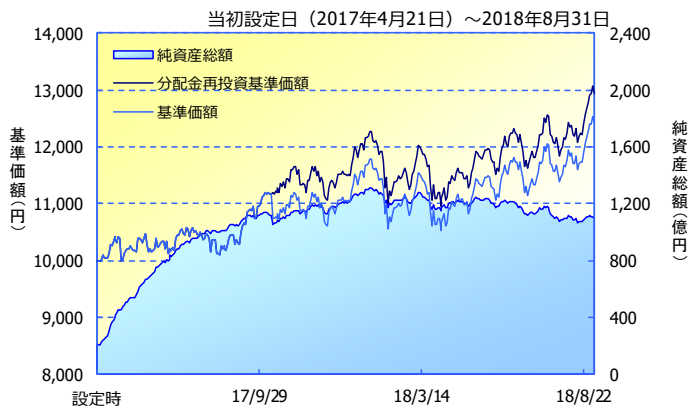
※当ファンドにおけるIoT関連企業とは、IoTを活用した製品・サービスの提供およびビジネスの創出・拡大を行う企業、IoTを支える通信インフラ(社会基盤)を管理、提供する企業、IoTに関連した技術を駆使し、AI(人工知能)に携わる企業等をいいます。

基準価額・純資産総額の推移

＜為替ヘッジあり＞



＜為替ヘッジなし＞



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。
※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

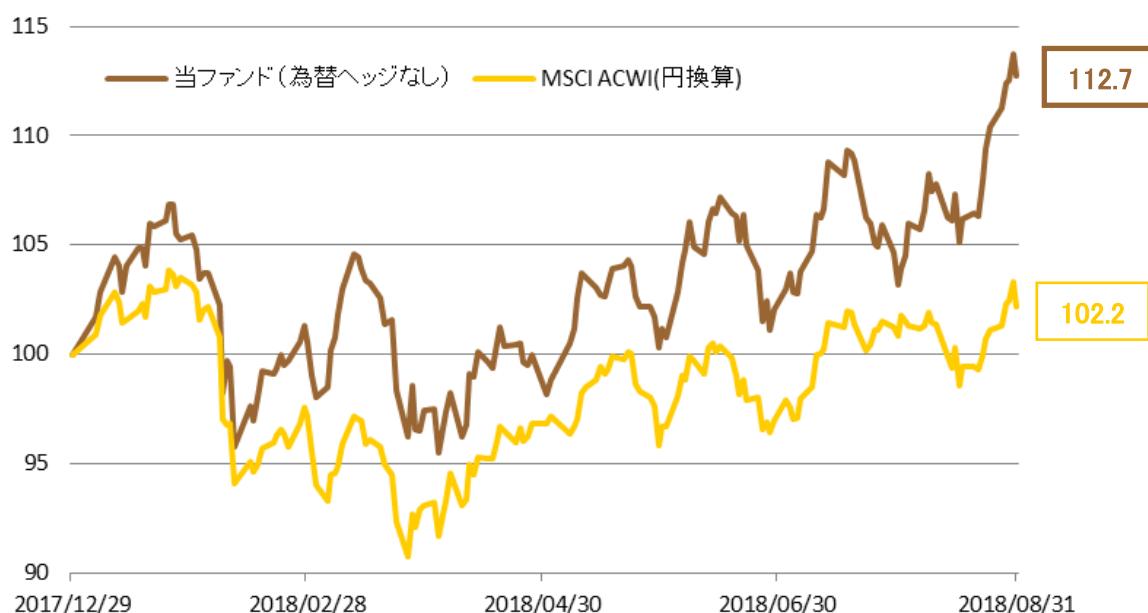
運用実績

2018年に入り、世界株式市場を大きく上回るパフォーマンス

2018年に入り、米国をはじめとする世界の景気動向が、2017年までの急速な拡大の流れと打って変わって安定的な成長ステージに移行する中、当ファンド(為替ヘッジなし)のパフォーマンスは世界株式市場を大きく上回る推移となりました。

当ファンド(為替ヘッジなし)の2018年パフォーマンス

(2017年12月末～2018年8月末)



当ファンド(為替ヘッジなし)の2018年パフォーマンス(期間別)

(2018年8月末)

	直近3カ月	6カ月	年初来
当ファンド (為替ヘッジなし)	11.4%	12.1%	12.7%
MSCI ACWI(円換算)	5.7%	5.1%	2.2%

※グラフは起点時を100として指数化しています。

※「為替ヘッジなし」のパフォーマンスは分配金再投資基準価額ベースです。

※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※MSCI ACWI(円換算)は当ファンドのベンチマークではありません。

※指数の円換算は指数の前営業日の米ドルベースの数値に当日のわが国の対顧客電信売買相場の仲値を乗じて算出しています。

※MSCI ACWIはMSCI Inc.が開発した指数です。MSCI公表データに関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

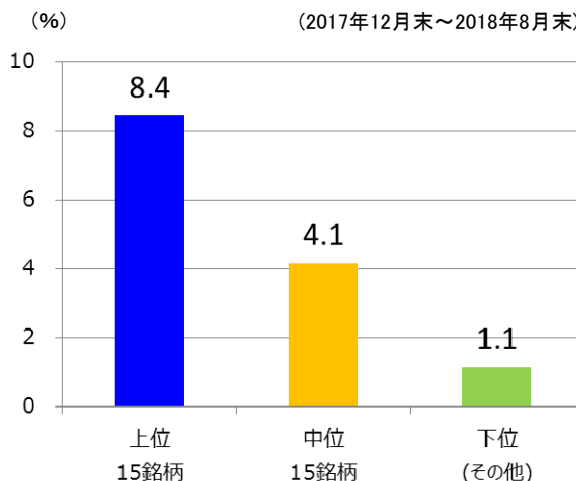
(出所) ブルームバーグのデータをもとに大和投資信託が作成

運用状況

主に組み入れ上位銘柄がパフォーマンスに寄与

当該期間中(2017年12月末～2018年8月末)に保有した銘柄を同期間の平均保有ウェイトの大きい順に並べ、1位から15位を「上位15銘柄」、16位から30位までを「中位15銘柄」、それ以外を「下位(その他)」にグループ分けします。そして、当ファンド(為替ヘッジなし)が組み入れるグローバルIoT関連株マザーファンド(為替ヘッジなし)の騰落率に対する銘柄の寄与度を、グループごとに合計しました。その結果、平均保有ウェイトが大きい上位15銘柄の寄与が最大となりました。マザーファンド(為替ヘッジなし)における銘柄選択が功を奏したと言えます。

保有ウェイトの大小による騰落率への寄与度



※期間中に保有した銘柄を同期間の平均保有ウェイトの大きい順に並べ、上位15銘柄、中位15銘柄、下位(その他)にグループ分けし、マザーファンド(為替ヘッジなし)の騰落率に対する銘柄の寄与度をグループごとに合計しています。

※銘柄の寄与度は、期間中のマザーファンド(為替ヘッジなし)の騰落率に対して、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したもので、BNY Mellon・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が試算した概算値です。

※銘柄の寄与度は、円換算済みの概算値となっています。各銘柄の保有比率および株価、為替レートを基に計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコストなどは考慮されていません。そのため、銘柄の寄与度の合計はマザーファンド(為替ヘッジなし)の騰落率と正確に一致するとは限りません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※なお、マザーファンド(為替ヘッジなし)における各銘柄の保有期間は各々異なります。

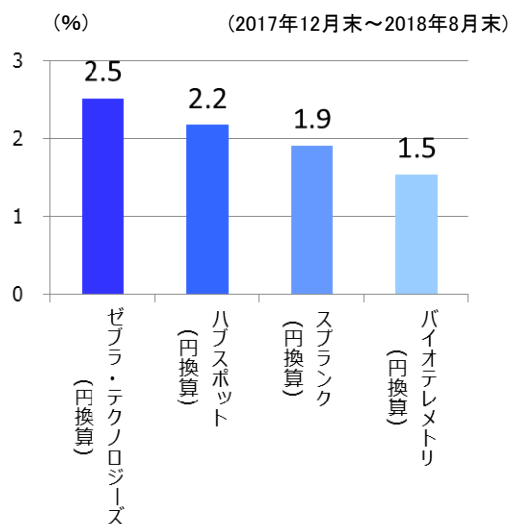
(出所) ブルームバーグのデータをもとにBNY Mellon・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

運用状況(銘柄)

ゼブラ・テクノロジーズなどがパフォーマンスに寄与

期間中に保有した銘柄を、当ファンド(為替ヘッジなし)が組み入れるマザーファンド(為替ヘッジなし)の騰落率に対する寄与度の大きい順に並べ、上位の4銘柄を表示しました。在庫数をリアルタイムで把握できるレーザーやスキャナなどのハードウェア/情報を一元管理できるアプリケーションなどを提供するゼブラ・テクノロジーズをはじめとする銘柄が上位に並びました。

銘柄による騰落率への寄与度上位4銘柄



※期間中に保有した銘柄を、マザーファンド(為替ヘッジなし)の騰落率に対する寄与度の大きい順に並べ、上位の4銘柄を表示しています。

※銘柄の寄与度は、期間中のマザーファンド(為替ヘッジなし)の騰落率に対して、各銘柄の変動がどれだけ影響しているかを示したもので、BNY Mellon・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が試算した概算値です。

※銘柄の寄与度は、円換算済みの概算値となっています。各銘柄の保有比率および株価、為替レートを基に計算した概算値であり、実際の取引価格やファンドが負担するコストなどは考慮されていません。そのため、銘柄の寄与度の合計はマザーファンド(為替ヘッジなし)の騰落率と正確に一致するとは限りません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

※なお、マザーファンド(為替ヘッジなし)における各銘柄の保有期間は各々異なります。

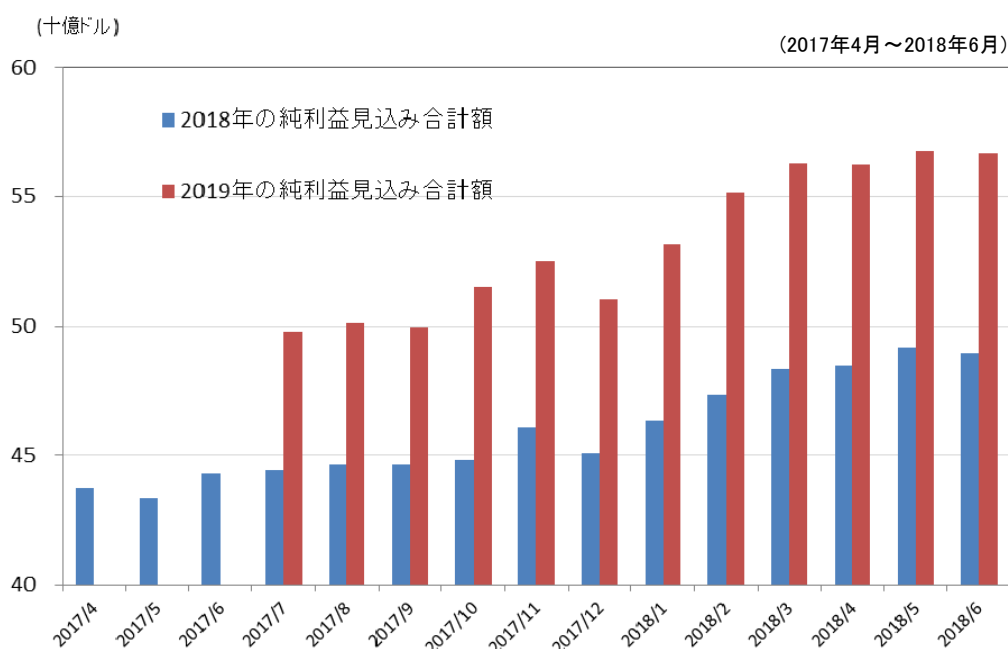
(出所) ブルームバーグのデータをもとにBNY Mellon・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

運用状況(組み入れ銘柄の純利益状況)

組み入れ銘柄の利益の成長は年を追うごとに拡大

ポートフォリオに組み入れている各企業の2018年期および2019年期の予想純利益総額は、ファンド設定以降、おおむね前月の予想額を上回って推移しています。さらに2019年の予想額は2018年を大きく上回っていることから、今後のIoT関連企業の業績への期待は高く、引き続き株価の上昇を牽引すると考えられます。こうした企業利益の成長が年を追うごとに拡大していることも、パフォーマンスの好調さの背景にあると考えられます。

ポートフォリオ組入銘柄の純利益見込みの合計値



※ 2018年6月末の組み入れ銘柄について過去に遡及して計算。(出所) ブルームバーグのデータをもとにBNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

今後の見通し

世界株式市場は、好調を維持する企業業績などを背景に堅調に推移するものとみています。ただし、米中貿易摩擦や英国のEU（欧州連合）強行離脱への懸念、軟調な経済状況を背景とする新興国通貨の下落といったリスクは注視していく必要があります。グローバルの製造業PMI（購買担当者景気指数）は1月をピークにしてやや成長の速度を落として推移しています。景気の拡大基調を示す水準は上回っているものの、成長の勢いがやや弱まっていることを示唆しています。こうした趨勢と、貿易摩擦懸念や米ドル高、原材料価格の上昇などの最近の動きを、銘柄選択において考えていく必要があります。

現在の景気環境は、半導体や資本財サービスといった分野における銘柄選択にはやや逆風となるものの、多くのIoT分野では、ファンダメンタルズは依然として堅調に推移し、投資する機会が数多く存在しています。ソフトウェア関連銘柄は全般的に堅調な四半期決算の結果を発表しています。5G（第5世代移動通信システム）や3Dセンサー、コネクテッドヘルスケア分野等、今後の成長拡大が見込まれるテーマの中で投資機会を探っていきます。米国の電気通信セクターについてもファンダメンタルズは改善してきており、ディフェンシブな特性を持つ銘柄としての投資妙味を提供していると考えています。

寄与度上位4銘柄のご紹介

ゼブラ・テクノロジーズ

(期間中の平均保有ウェイト1位)

バーコードを在庫管理に
「活かす」



- ✓ 在庫数をリアルタイムで把握できるレーザーや二次元スキャナといったハードウェア、情報を一元管理できるアプリケーションなどを提供しています。**多くの企業は在庫管理の自動化を進めており、この分野に積極的に投資を行っていることから、同社はその恩恵を長期的に享受すると考えています。**
- ✓ 同社に対する市場の業績見通しは上方修正されました。**我々は、同社の業績は更に上方修正されると見ており、株価もいっそう上昇するものと考えています。**

ハブスポット

(期間中の平均保有ウェイト4位)

Webデータをマーケティングに
「活かす」



- ✓ Webマーケティング用のソフトウェアを開発しています。インターネット利用者の行動データ、個人属性データなどを分析し、顧客となる**企業に最適と思われるマーケティング行動を提案します。**
- ✓ インターネット利用者の拡大に伴い、顧客となる企業が膨大なデータを管理しマーケティングに活かす上で、**同社のサービスの使用がコストの大きな削減につながることから、成長が見込まれると考えています。**

スプラック

(期間中の平均保有ウェイト2位)

様々な種類の膨大なデータを変換して「活かす」



- ✓ 企業が集めたデータを活用するためのソフトウェアを提供します。**顧客は同社製品を使用することで、フォーマットや情報源に関係なくデータを収集、検索、調査、監視、分析することが可能となります。**
- ✓ 様々なモノがIoT化する中、集められるデータの量は膨大となっています。しかし、それを活用するためには**同社のソフトウェアのような効率的な分析が必要不可欠であり、IoT普及に伴い、恩恵を大きく受けると考えています。**

バイオテレメトリ

(期間中の平均保有ウェイト22位)

ウェアラブル端末などで収集したデータを医療に「活かす」



- ✓ 一般的な心電図装置から最新の医療ウェアラブル機器など、**様々な商品を通じて心臓監視サービスを行います。**
- ✓ 医療・ヘルスケア分野におけるIoTの市場は高い成長率が予想されており、その中でも同社は医療データを集めるだけでなく、その先の**分析まで手掛ける包括的サービスを提供しており、高い収益性が見込まれると考えています。**

※期間中の平均保有ウェイトは、2017年12月末から2018年8月末までの期間で算出しています。

(出所) ブルームバーグのデータをもとにBNY Mellon・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

そのほか、寄与度が上位となった銘柄のご紹介

ルメンタム・ホールディングス

3D技術で形状の情報を
「集める」



- ✓ 「5G」と「3Dセンシング」の分野で重要な役割を果たすと考えています。アップルは、2018年秋に発売予定のiPhoneやiPadの新商品に同社の3D技術を更に活用する計画です。同社はその恩恵を受けるものと考えます。また、今後はスマートフォンだけでなく自動運転の分野でも同社の3D技術が積極的に活用されるものと思われます。
- ✓ 収益予想は今後も着実に上昇することが見込まれており、さらに、予想株価収益率が13倍程度とバリュエーション面でも非常に魅力的な銘柄です。

アイリズム・テクノロジーズ

ウェアラブル機器を医療に
「活かす」



- ✓ 医療用ウェアラブル機器を提供する企業です。2018年4-6月期決算では前四半期比+16%、前年同期比+55%と好調な売上を発表しました。同社の新製品「Zio AT」（不整脈モニタリング用ウェアラブル医療機器）は、2017年6月に特許を取得し、以降販売が非常に好調です。同社は2014年から2017年にかけて営業員を4.3倍に増員するなど、売上の更なる拡大を図っています。
- ✓ 同社の事業は先行投資が莫大に発生する初期段階にあり、純利益はマイナスの状況ですが、市場も我々も中長期的に大きな成長を見込んでおり、それが堅調な株価にも表れていると考えています。

キーサイト・テクノロジーズ

5G技術でデータを速く
「つなげる」



- ✓ 5Gの分野で重要な役割を担う企業です。現在は、5Gサービスを提供する主要企業による大規模な実験の際に、同社の製品が幅広く活用され恩恵を受けています。そして、2018年後半から2019年に実際に5Gの製品が発売されると、同社は更にその恩恵を受け、長期的に成長を遂げると考えています。
- ✓ 予想EPSは着実に上昇しており、5G市場の拡大は2019年以降も続くと考えられることから、株価の上昇傾向は今後しばらくの間続く予想しています。足下のバリュエーションは5Gの成長を反映して上昇傾向にありますが、同社の2桁台の売上高成長やEPSの成長を考慮すると、非常に魅力的な銘柄であると考えます。

ブループポイント

飛び交うデータを安全に
「つなげる」



- ✓ データセキュリティの大手企業です。IoTの急速な普及によって、機器間同士でやり取りされるデータ量が膨大に増加しており、情報の安全性を確保する需要がますます高まっています。
- ✓ 同社に対する市場の業績見通しは上方修正されており、株価パフォーマンスも良好となっています。 株価収益率は、一般の企業と比べると高い水準にあるものの、同社はSaaS（サービス型ソフトウェア）型企業（※）であることから、割高感はないと判断しています。

※SaaS型企業では、年間契約などによる将来獲得する収益が、足下の売上高に計上されず、株価収益率の値が一般の企業よりも高めに出る傾向があります。

(出所) ブルームバーグのデータをもとにBNY Mellon・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社が作成

ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド – AI新時代 – (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

世界のIoT関連企業の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

- 世界のIoT関連企業の株式に投資します。
※株式・・・DR（預託証券）を含みます。
※IoT（Internet of Things）とは、コンピュータなどの情報通信機器だけでなく、世の中に存在するさまざまな物体（モノ）が通信機能を持ち、インターネットに接続することをいいます。

当ファンドにおけるIoT関連企業とは

- IoTを活用した製品・サービスの提供およびビジネスの創出・拡大を行なう企業
 - IoTを支える通信インフラを管理・提供する企業
 - IoTに関連した技術を駆使し、AI（人工知能）に携わる企業 等
- 株式の運用は、BNYメロン・アセット・マネジメント・ノースアメリカ・コーポレーションが行ないます。
 - 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

為替ヘッジあり

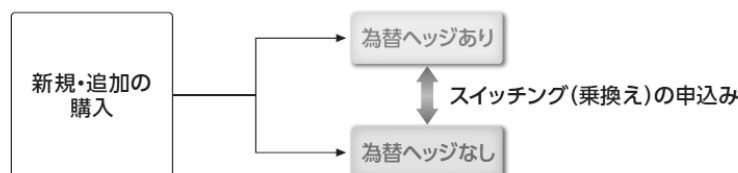
- 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

為替ヘッジなし

- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

スイッチング(乗換え)について

◆「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング(乗換え)を行なうことができます。



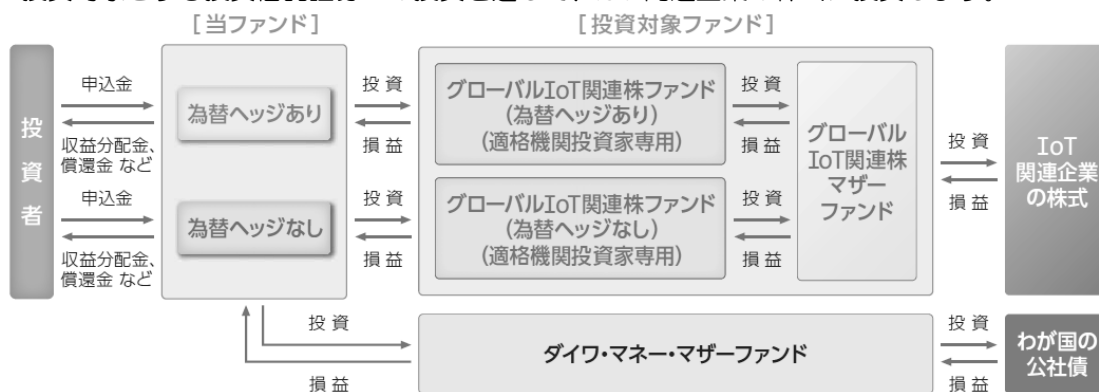
販売会社によっては「為替ヘッジあり」または「為替ヘッジなし」のどちらか一方のみのお取り扱いとなる場合があります。また、販売会社によっては、スイッチング(乗換え)のお取り扱いがない場合があります。くわしくは販売会社にお問合せ下さい。

ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド –AI新時代– (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、IoT 関連企業の株式に投資します。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド–AI新時代– (為替ヘッジあり) : 為替ヘッジあり
ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド–AI新時代– (為替ヘッジなし) : 為替ヘッジなし
- ◆各ファンドの総称を「ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド–AI新時代–」とします。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「中小型株式への投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※「為替ヘッジあり」は、為替ヘッジを行いませんが、影響をすべて排除できるわけではありません。また、為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行なわないので、基準価額は、為替レートの変動の影響を直接受けます。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド – AI新時代 – (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。なお、販売会社によっては、スイッチングのお取り扱いを行わない場合があります。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.2096% (税抜 1.12%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.56268% (税抜 0.521%)	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.77228% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

加入協会

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -AI新時代- (為替ヘッジあり) 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会	
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第48号	○	○		
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
島大証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第6号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○	○		○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
奈良証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			

ダイワ・グローバルIoT関連株ファンド -AI新時代- (為替ヘッジなし) 取扱い販売会社

販売会社名 (業態別、50音順) (金融商品取引業者名)	登録番号	加入協会				
		日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会	
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○		
株式会社愛媛銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第6号	○			
株式会社北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第48号	○	○		
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			
おきぎん証券株式会社	金融商品取引業者	沖縄総合事務局長(金商)第1号	○			
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
島大証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第6号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第77号	○	○		○
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○			
奈良証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第25号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。